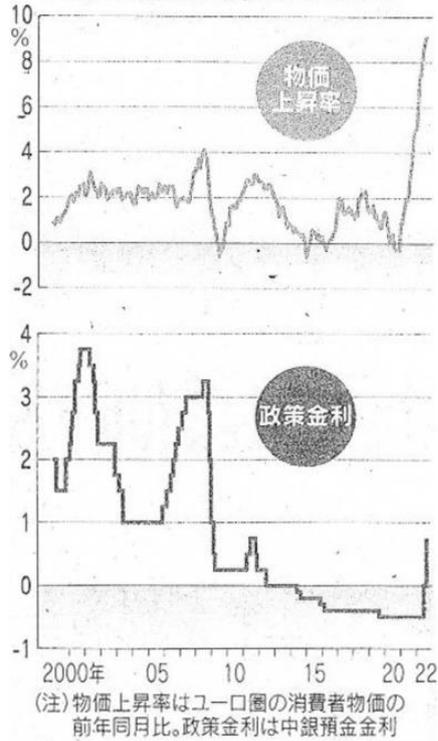


週間国際経済 2022 (28) No.321 09/09~09/19

- 09/09・欧州中央銀行、0.75%利上げ (8日理事会) 幅最大、インフレ抑制 <1>
引き締め効果不透明、景気腰折れも エネ供給不安、米に耐性見劣り
- ・ドルの実力 (名目実効レート) 過去最高 対ポンド 37年ぶり高値 対円 24年ぶり
 - ・エリザベス女王死去 96歳、在位最長の70年
 - ・中国消費者物価 2.5%上昇 8月、7ヶ月ぶり鈍化
- 09/10・物価対策 日欧 70兆円 長引く危機対応 見えぬ出口戦略
- ・「再度の大幅利上げ支持」 FRB 理事、次回 FOMC で
- 09/11・IPEF、交渉入り合意 中国念頭に対抗軸 重要物資融通へ情報共有
- ・米の家計純資産 最大の 6.1兆ドル減 4~6月、株安響く <2>
- 09/13・ウクライナ、東部反攻加速 要衝ハリコフ州「制圧地域、ほぼ奪還」 <3>
- 09/14・NY株急落 1276ドル安 大幅利上げ継続警戒 日経平均一時 800円安
- ・米消費者物価 8.3%上昇 8月 伸び鈍化、市場予想は上回る
 - ・米預金の減少幅最大 四半期ペース 6月末、3700億ドル減 金融商品にシフト
 - ・企業物価上昇、円安が拍車 8月 9% 輸入価格に影響大きく
 - ・ロシア、金融で対中シフト 制裁でドル離れ加速 人民元建て社債、国債発行も
- 09/15・政府・日銀、為替介入準備か 市場参加者に相場照会 (レートチェック)
- ・貿易赤字最大 2.8兆円 8月 資源高・円安響く 輸出鈍く、円安の恩恵薄れる
 - ・「反撃能力」検討 米が支持 防衛相会談 来年、日米 2プラス 2
- 09/16・欧州トリプル安 マネー一斉逃避 景気悲観、急速に強まる <4>
- ・米小売売上高 0.3%増 8月 食料優先、服・家電控える 中高所得層にも打撃拡大
 - ・米の逆イールド 22年ぶり金利差、0.32%台後半 2年債と 30年債
- 09/17・中ロ、共同声明出さず 首脳会談、かりそめの結束 <5>
- 習氏、侵攻巡り一線 プーチン氏「懸念を理解」
- ・印首相もロシアに苦言 首脳会談「戦争の時ではない」 等距離外交で実利 <6>
ロシア産原油輸入拡大 米 IT 勢の投資受け皿に 日本と安保協力、中国警戒
 - ・米韓「核の傘」で連携 対北朝鮮で協議再開
 - ・中国、深まる不動産苦境 新築住宅価格 12ヶ月連続下落 金融システム波及も
 - ・「デジタルドル」定期会合 米政府設置 安保面の影響精査
 - ・NY株が週間 4%安
- 09/18・米でストライキ 8割増 インフレ・人手不足、要求強気 全体の 2割が教職員
- ・一帯一路「問題債権」3倍 20~21年 7.4兆円、コロナ直撃 融資 6割減少
- 09/19・止まらぬ円安 縮む日本 ドル建て GDP、30年ぶり 4兆ドル割れ 140円換算
- ドル建て日経平均株価、今年 2割安 経済構造の転換急務
- ・韓国、醜聞巡り争い再び 検察交え泥仕合 最大野党党首を起訴 大統領を告発

<1>

ECBの政策金利と物価上昇率



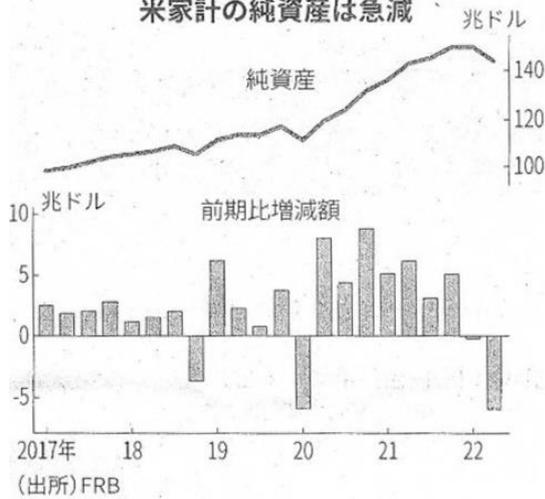
<4>

欧州の各資産の騰落率(7月末比)



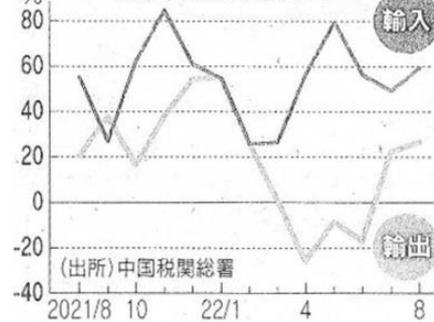
<2>

米家計の純資産は急減



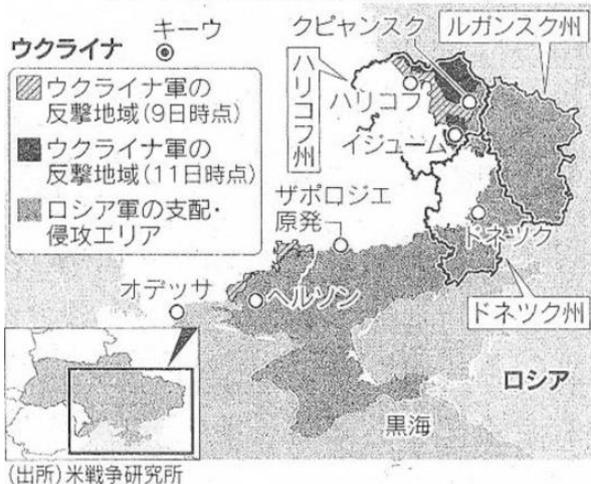
<5>

中国の対ロシア貿易は拡大が続く



<3>

ウクライナ軍は東部の要衝を奪還



<6>

インド独自の外交姿勢が目立つ

